

平成30年7月豪雨災害の

お見舞い申し上げます

冠省 先般発生 of 豪雨災害に対し、幾多の尊い人命を失い、なお被災されて避難をされている多数の住民皆様に対して、心からの哀悼の意を表し、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、唯々1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。決して希望を捨てることなく、必ずや復興するとの強い決意と勇気を持たれて、復旧活動に臨まれますよう、心からのお願いと激励を申し上げる次第であります。

自然災害の猛威に、改めてその破壊力の大きさに驚嘆すると共に、その被害を最小限に食い止めるために、我々行政や議会の役割を鑑みるに、常に災害に備え、災害から県民の命や財産を守る施策に取り組んできたのかを痛切に反省する次第であります。天災の恐ろしさを言うばかりで、天災に備えた危機管理とその対策を怠ってきたのではないか、まさしく人災と呼べるものはなかったのか、と後悔するばかりであります。

堤防を補強し、時に浚渫をし、草木を伐採し、河川を改修することは、公共工事の緊急性や必要性という今日只今の観点ではなく、未来の備えのための先見性に基づいたインフラ整備という投資を怠っていたのではないか、大衆に迎合するばかりの、人気取りの施策の影に隠れて、果たして、「備えあれば憂いなし」の観点が疎(おろそ)かになっていたのではないか、と思慮する次第であります。

今回の豪雨災害は、西日本一帯に発生し、日を追うに連れ死者・行方不明の数は膨れ、被害の甚大さを物語っており、通告の極みであります。広島市安佐北区また倉敷市真備地区のように、大災害の地域もありましたが、中被害や小被害の地域もございました。報道が大災害地区に偏向するの已むを得ざるものがありますが、従って報道はされませんでした。その大小を問わず、被害に遭われた地区住民の皆様方に対し、重ねてお見舞いを申し上げますと共に、国の激甚災害指定等により、人的・物的支援策など、手厚く、住民の心のひだに触れるごとく、早急にして温かい対応を心からお願いする次第であります。

小生、岡山県議会副議長として、沈着にして冷静に、県政発展と県民福祉の向上のために、緊張感を以て、行政との車の両輪の役割を遂行するため、汗を流したいと思っております。皆様におかれましては、どうかくれぐれもご自愛下さり、益々のご活躍をお祈り申し上げ、豪雨災害お見舞いの言葉に替えさせて戴きます。 早々

平成30年盛夏

自由民主党・岡山県議会議員

岡山県議会副議長:総務委員会委員

波多 洋治

熱血会:はたようじ後援会事務所

☎701-0143 岡山市白石65-1 E-mail: hata@okako.com

http://www.hatayouji.jp/ 携帯: 090-1337-0337

T E L : 086-251-1288 F A X : 086-251-1277